



S / N / A / AN / V1 : 常体形。ただし、「Nだ N」「ANだ AN」

基 本

例 文

- ① ここがわたしたちの席<sup>せき</sup>かどうか<sup>たし</sup>確かめましょう。
- ② すみませんが、<sup>こ</sup>語<sup>に</sup>で、日本料理<sup>にほんりょうり</sup>が<sup>す</sup>好きかどうか<sup>き</sup>聞いてください。
- ③ このツアー<sup>さん</sup>に参加<sup>か</sup>するかどうか、明日<sup>あした</sup>までに<sup>き</sup>決めてください。
- ④ 今日<sup>きょう</sup>は何<sup>なに</sup>がおいしいかウエイター<sup>き</sup>に聞いてみましょう。
- ⑤ 昔<sup>むかし</sup>の<sup>ひと</sup>人が<sup>せい</sup>どんな生活<sup>かつ</sup>をしていたか<sup>しら</sup>調べました。
- ⑥ この建物<sup>たてもの</sup>がいつできたか<sup>し</sup>知っていますか。
- ⑦ だれが<sup>し</sup>この詩<sup>か</sup>を書いたかわかりません。
- ⑧ A : あのう、手紙<sup>てがみ</sup>を出<sup>だ</sup>したいんですが、郵便局<sup>ゆうびんきょく</sup>はどこですか。  
B : ええと、ここをまっすぐ行って...。ちょっと複雑<sup>ふくざつ</sup>なので、いっしょに行き<sup>い</sup>ましょう。
- A : 大丈夫<sup>だいじょうぶ</sup>です。一人<sup>ひとり</sup>で行<sup>い</sup>けますから、どこにあるか<sup>おし</sup>教えてください。
- ⑨ ホテル<sup>はくぶつかん</sup>から博物館<sup>まで</sup>、どうやって行<sup>い</sup>ったらいいか<sup>ちず</sup>地図<sup>しら</sup>で調べましょう。
- ⑩ いくつお弁当<sup>べんとう</sup>が<sup>ひつよう</sup>必要<sup>き</sup>か聞いてみます。

A. 「かどうか」は、疑問詞を含まない疑問文を名詞化する。(例文①～③)

わたしは、田中さんが旅行に行くかどうか知りません。

田中さんは旅行に行きますか。

B. 「疑問詞...か」は、「何、いつ、だれ、どこ、なぜ」などの疑問詞を含む疑問文を名詞化する。

(例文④～⑩)

どこで前売り券を売っているか電話で聞きました。

どこで前売り券を売っていますか。

C. 「Sかどうか」「疑問詞...か」は、文の構成要素になる。(例文①～⑩)

## 先生へ

「かどうか」「疑問詞...か」の後には助詞「が」「を」をつけることがある。

例1 2時までに明日のお城見学に参加するかどうかを連絡してください。

2 乗る電車が何番線に来るかがわからなくて、困りました。

3 ここに何泊するかを書いてください。

疑問文「Sんですか」「疑問詞...んですか」を名詞化する場合は、「Sのかどうか」「疑問詞...のか」となる。

例 なぜスケジュールが突然変わったのか説明してください。

なぜスケジュールが突然変わったんですか。

「SかどうかNです」「疑問詞...かNです」もあるが、ここでは扱わない。

例1 お金があるかどうか問題です。

2 どんな返事が来るか楽しみです。

V2に「わかる、知っている、覚えている、質問する、聞く、たずねる、教える、決める、調べる、Vてみる」などの動詞を使って練習するとよい。

### 【関連項目】

活-05 常体形  
文-25 Vこと  
文-69 の(名詞化)

### 【「れんしゅう編」の練習】

16-2 有名人にインタビュー  
16-4 おまわりさんの交番日記  
17-2 人気がある仕事